

# ご近所のお医者さん

653

長田医院長 **長田栄一さん** 一大阪市東成区

## コロナ脅威乗り越え

2020年1月16日、中国・武漢に潜在歴のある男性を新型コロナウイルスの国内初の感染者と確認したことが発表され、2月には大型クルーズ船の乗客乗員にも見つかりました。そして、4月の緊急事態宣言により、街は閑散として人の心も不安に覆われていきました。

マスクが品薄になった頃、来院患者さんに手作りマスクを渡すため、スタッフがキッチンペーパーと輪ゴムで作ってくれたことが思い出されます。また、「大変やろうけど、頑張っただけだ！」と憤慨されたこともあり、皆が不安といらだちの中にあることを痛感した出来事も多々ありました。

発生当初は正体の知れぬウイルスの脅威に立ち向かうすべもなく、ニューズで人工心肺装置「ECMO(エクモ)」を装着した感染者を目にして、「感染すれば死ぬかもしれない」と恐怖心を抱き、いろいろな意味で診療に打ち込むことが難しい状況が続きました。とりわけ在宅医療に関しては継続不可能

と思われるまでに追い込まれましたが、ワクチン接種のおかげで何とか切り抜けることができました。真夏の訪問時に防護服着用はつらく、気力体力の限界を感じるほどでした。しかし、訪問看護ステーションの方々には、全面的にサポートしていただき本当に救われました。極限のストレスから、顔面神経まひを発症したり体調が優れな

## 周囲の支えに感謝

かたたりし  
ましたが、  
本来心配性  
の私がよく

乗れ越えられたものだと思います。どんな状況にあっても信頼を寄せてくださる患者さんや周囲の支えがあったからこそと感謝するとともに、人は一人では生きていけないことを身に染みて知った3年でした。

5月8日から季節性インフルエンザと同様の5類感染症となったものの、気を緩めることなく、これからもかかりつけ医としての役割を精いっぱい果たしていきたいと思っています。



5月8日から季節性インフルエンザと同様の5類感染症となったものの、気を緩めることなく、これからもかかりつけ医としての役割を精いっぱい果たしていきたいと思っています。